

BCAO関西支部 第42回支部会合 議事録

1. 概要

(1) 日時: 2010年3月17日(水) 18:00～18:35

(2) 場所: 大阪ガス「1北 A-1 会議室」

(3) 座 長: 萩原(大林組)

(4) 書 記: 前田(富士火災)

(5) 出席者: 19名 (順不同・敬称略) 小川(アイアイジェイテクノロジー)、

日下(住友電気工業)、萩原(大林組)、前田(富士火災)、加瀬(大阪科学技術センター)、

川口(船井電機)、西濱(西濱防災ネット技術事務所)、福島(清水建設)、藤村(竹中工務店)、

柳父(大阪ガス)、佐原(鈴与)、杉原(大阪市)、速水(大阪地下街)、伊藤(TeleContinuity)、

大西(神戸大学)、上田(情報システム監査)、山口(アイアイジェイテクノロジー)、

細坪(本部事務局長)、平吾(本部事務局)

(6) 議題

1. 本部事務局より報告

2. 関西支部の課題について

(7) 議事

1. 本部事務局より報告 (細坪事務局長より)

- ・ 4/16 研究会・地域勉強会の発表(対象期間は昨年度からの2年間)、5/31 アワード発表と総会(総会) 役員改選については、委員会推薦と立候補者の2本建てにより決定。

BCAOとして取組む事業への希望を3～4月にどしどしだしていただきたい

- ・ BCP 策定支援講座を開始(3/24-25)、今回は外部参加者も含めて7万円/2日間
BCAOより外部向け講師として携わる方など受けていただく構想あり
- ・ リスク分析(個別対応)とビジネスインパクト分析(重要業務・目標復旧時間、戦略へ)の考え方を整理し、主任テキストへ反映し、標準テキスト・初級テキストへも反映予定
新型BCPについてBCAOとして発表するのをやめた理由は、リスク毎に策定していくという流れを止めるため
- ・ 企業の経営戦略とリスク戦略とBCとの関係を経営者に話すとき、BCAOとしては切り口、アプローチは複数ありという立場。個別の対応計画については、否定せずに踏み込まない。
ツールは作らずに概念を伝えていく。
- ・ 大手企業の場合、策定プロセスより運用プロセスへのニーズが高い。実は、BCPと謳いながら対応計画になっている場合が多い
- ・ マネジメントシステムとして取組むとき、品質・環境(日常)とBC(非常時)は違う部分がでてる

2. 関西支部の課題について

- ・ 地域連携、関西支部の行動計画については、意見交換会でじっくりと意見を集めたあとに策定してはどうか

以 上